



2023年度 環境経営レポート

< 運用期間：2023年7月～2024年6月 >



2024年 7月 29日発行



穴喰建設工業株式会社

目 次

1. 環境経営方針	1
2. 取組対象組織・活動	2
3. 組織図 及び 役割・責任権限表	3
4. 環境経営目標及びその実績	4
5. 環境経営計画の取組結果とその評価	6
6. 次年度(2024年度)の取組内容	7
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反・訴訟等の有無	8
8. 代表者による全体の評価と見直し・指示	8
※ 緊急事態対応訓練	9
※ 活動・取組事例	10



穴喰 大手海岸



ICT活用工事現場



環境経営方針

○ 基本理念

次の世代が健康で豊かな生活を安心して営めるよう、環境保全を重要課題の一つとして位置づけ、これからの社会環境づくりに積極的に参画します。

○ 基本方針

当社が行う事業活動における環境への影響を理解し、環境負荷を出来る限り少なくするために、以下の活動に積極的に取り組みます。

1. 環境経営目標を定め、定期的に見直し、継続的改善に努めます。
2. 以下の項目を重点目標として取り組みます。
 - ・ 二酸化炭素排出量の削減
 - ・ 廃棄物の削減、及びリサイクルの推進
 - ・ 水使用量の削減
 - ・ 環境を配慮した施工、サービスの提供
3. 事業活動に関わる環境法令、条例、その他要求事項を遵守します。
4. 地域での環境保全活動、社会貢献活動に努めます。
5. この環境経営方針を、全従業員に周知するとともに社内外に公表します。

制定日： 2009年 10月 1日

改定日： 2020年 7月 1日

宍喰建設工業株式会社

代表取締役 谷口 美徳

2. 取組の対象組織・活動

1. 事業所及び代表者名

穴喰建設工業株式会社
代表取締役 谷口 美德

2. 所在地

本社	(事務所・資材倉庫)	徳島県海部郡海陽町穴喰浦字松原81番地2
生コン工場	(事務所・プラント)	徳島県海部郡海陽町久保字板取213
県南石油		徳島県海部郡海陽町久保字板取243-301
資材倉庫		高知県安芸郡東洋町野根丙2828-2

3. 環境管理責任者及び担当者

管理責任者 山崎 裕督
担当者 仲野 了代
連絡先 TEL 0884-76-2023 FAX 0884-76-3428
E-mail koumu@sisiken.co.jp
URL <https://www.sisiken.co.jp>

4. 事業内容

総合建設業 <土木、建築、とび・土工、しゅんせつ、水道施設、解体 工事業>
レディミクストコンクリート製造販売
ガソリンスタンド

5. 事業の規模

資本金 2,000万円
売上高 139,100万円 (2023年度)

	本社		生コン工場		県南石油
	事務所等	資材倉庫	事務所等	資材倉庫	
延床面積	15.44m ²	396.5m ²	246.05m ²	450.0m ²	91.0m ²
従業員	29人		14人		4人

6. 事業年度

7月1日～6月30日

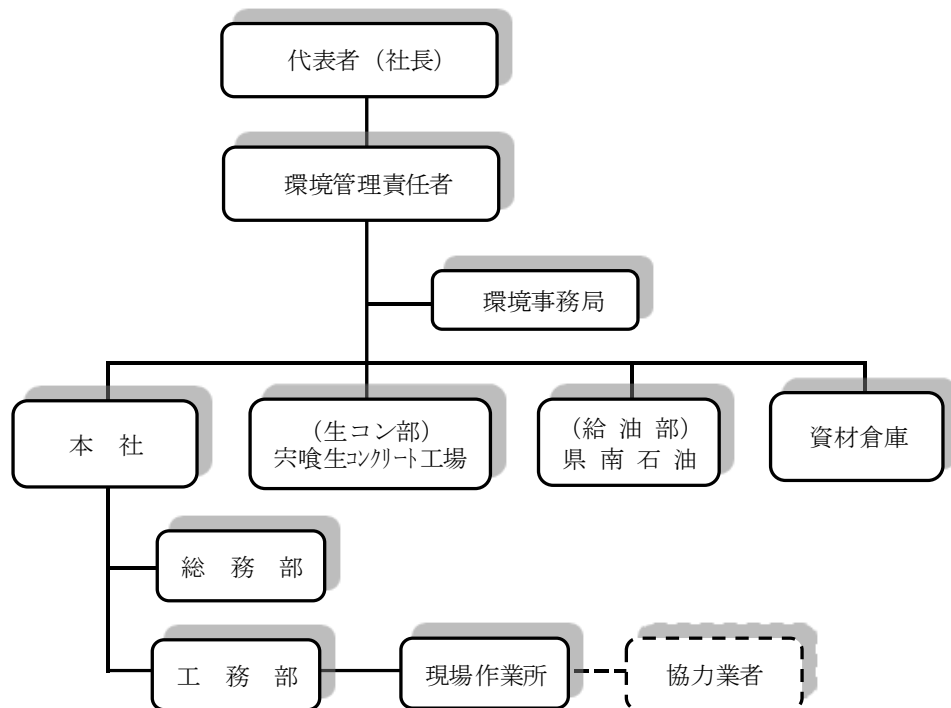
7. 認証の対象範囲

対象事業所：本社・資材倉庫、穴喰生コンクリート工場、県南石油、資材倉庫
活 動 ：4.事業内容のとおり

レポートの対象期間 及び 発行日

期 間：2023年7月1日～2024年6月30日
発行日：2024年7月29日 (次回発行予定：2025年8月)

3.組織図 及び 役割・責任権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムに関する経営資源の確保 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの運営・実施・管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷及び環境への取組の自己チェックの実施 ・システムに関する文書及び記録の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成・公開（地域事務局への送付等）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況も報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加
協力業者	・環境への取組の協力を要請

4. 環境経営目標及びその実績

■2023年度 実績

組織全体の CO2排出量総量 kg-CO2	429,395
本社（工事現場含む）	285,124
生コン部	129,014
給油部	15,257

■部門別（本社・生コン部） 目標及び実績

- * 給油部は行動目標をたて活動。
- * 灯油使用は行動目標をたて活動。
- * 評価：○ 達成 ×：未達成
- * 基準値は過去3年間(2020～2022年度)の平均値。

【本社（工事現場も含む）】

項目	基準値	2023年度
CO2 総排出量 kg-CO2	299,275	285,124
廃棄物排出量		
一般廃棄物 t	0.518	0.476
産業廃棄物（再資源化率 100%）	100%	100%
水使用量 m3	179	224

※排出係数は 0.532kg-CO2/kWh（四国電力 令和3年度 調整後の係数）

※CO2総排出量；電力・車両燃料・灯油の総計。

【本社（事務所）】

項目 \ 年度	基準値	2023年度		評価	2024年度 目標 (基準値の▲2%)	2025年度 目標 (基準値の▲3%)
		目標 (基準値の▲1%)	実績			
CO2排出量 計 (kg-CO2)	15,345	15,192	23,307	×	15,038	14,885
電力によるCO2排出量	5,664	5,607	6,139	×	5,551	5,494
車両燃料によるCO2排出量	9,681	9,584	17,168	×	9,487	9,391
灯油による CO2排出量 (kg-CO2)	834.15	—	567.72	—	—	—
一般廃棄物排出量 (t)	0.518	0.513	0.476	○	0.508	0.502
水使用量 (m3)	134	133	111	○	131	130

※CO2排出量には灯油によるCO2排出量を含んでいない。

【本社（現場）】

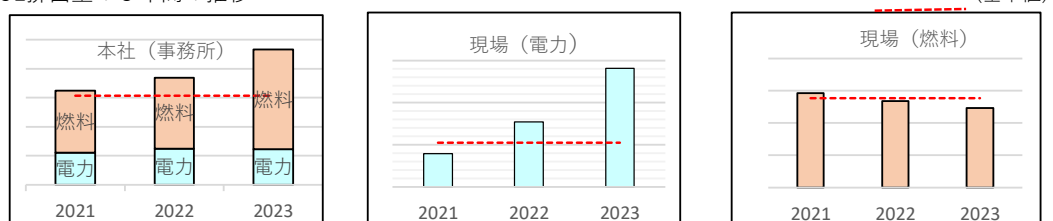
項目 \ 年度	基準値	2023年度		評価	2024年度 目標 (基準値の▲2%)	2025年度 目標 (基準値の▲3%)
		目標 (基準値の▲1%)	実績			
CO2排出量 計 (kg-CO2)	282,424	279,600	261,100	○	276,776	273,951
電力によるCO2排出量	5,252	5,199	14,108	×	5,147	5,094
[原単位当たりの指標]	0.0612	0.0606	0.1321	×	0.0600	0.0594
車両燃料によるCO2排出量	277,172	274,400	246,992	○	271,629	268,857
[原単位当たりの指標]	3.231	3.199	2.313	○	3.166	3.134
灯油による CO2排出量 (kg-CO2)	672.30	—	149.40	—	—	—
産業廃棄物再資源化率 (%)	100	100	100	○	100	100
水使用量 (m3)	45	44.6	113.0	×	44.1	43.7

※原単位当たりの指標：kg-CO2/万円

基準値：85,783万円/2023年度完成工事高：106,797万円

※CO2排出量には灯油によるCO2排出量を含んでいない。

■CO2排出量の3年間の推移



【生コン部】

項目	基準値	2023年度
CO2 総排出量 kg-CO2	160,120	129,014
廃棄物排出量		
一般廃棄物 t	0.296	0.187
産業廃棄物（再資源化率 100%）	100%	100%
水使用量 m3	5,362	5,110

※排出係数は 0.532kg-CO2/kWh（四国電力 令和3年度 調整後の係数）

※CO2総排出量；電力・車両燃料・灯油の総計



【生コン部】

項目 \ 年度	基準値	2023年度		評価	2024年度	2025年度
		目標 (基準値の▲1%)	実績		目標 (基準値の▲2%)	目標 (基準値の▲3%)
CO2排出量 計 (kg-CO2)	158,853	157,264	127,776	○	155,676	154,087
電力によるCO2排出量	73,972	73,232	60,337	○	72,493	71,753
[原単位当たりの指標]	2.783	2.755	3.962	×	2.727	2.700
車両燃料によるCO2排出量	84,881	84,032	67,439	○	83,183	82,335
[原単位当たりの指標]	3.194	3.162	4.428	×	3.130	3.098
灯油による CO2排出量 (kg-CO2)	1,267.41	—	1,237.53	—	—	—
一般廃棄物排出量 (t)	0.296	0.293	0.187	○	0.290	0.287
産業廃棄物再資源化率 (%)	100	100	100	○	100	100
水使用量 (m3)	5,362	5,308	5,110	○	5,255	5,201

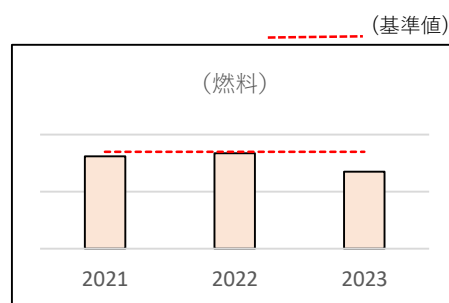
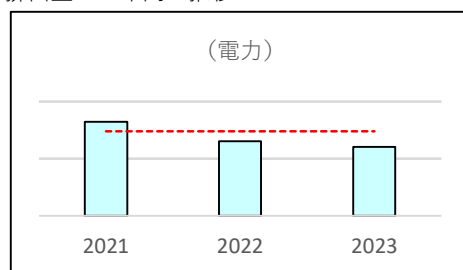
※原単位当たりの指標：kg-CO2／t

基準値 出荷量：26,577 t ／2023年度出荷量：15,229 t

※資材倉庫分は含まない。

※CO2排出量には灯油のCO2を含んでいない。

■CO2排出量の3年間の推移



5. 環境経営計画の取組結果とその評価

(2023年7月～2024年6月)

活動内容	達成状況			取組結果とその評価
		数値目標	活動	
電力による二酸化炭素削減 ・エアコン温度管理／フィルター清掃 ・エアコン点検 ・必要以外の照明消灯	事務所	×	◎	基準値の設定を見直した。 年々気温が上昇しエアコンの稼働率が高い。状況に合わせて温度設定をしている。昨年度より現場事務所の設置数も増え、各部門で削減を意識して工夫しながら取り組んでいる。 重機、生コンミキサー車も一部低燃費型に買い替えたので削減に繋がるのではと期待している。 灯油については使用期間が数カ月のため行動目標を設定して取り組んでおり各部門とも活動は十分である。 次年度も継続して取り組む。
	現場	×	○	
	生コン部	○	◎	
	給油部	—	◎	
車両燃料による二酸化炭素削減 ・エコ運転の推進／車両点検・整備の徹底 ・現場へは乗り合わせて移動 ・小型車活用＜生コン部＞ ・配車は最短コースで効率よく＜給油部＞	事務所	×	○	
	現場	○	○	
	生コン部	○	◎	
	給油部	—	◎	
灯油による二酸化炭素削減 ・日中は暖房器具の使用時間を見直す ・温度設定を低くする	事務所	—	◎	
	現場	—	◎	
	生コン部	—	◎	
	給油部	—	◎	
一般廃棄物の削減 ・分別の徹底 ・使用済み用紙の再利用(印刷ミスをなくす) ・電子メールの活用	事務所	○	◎	資源ゴミは町の分別収集、廃品回収を利用。メール・クラウドの活用も定着している。書類の簡素化となっているが、まだ紙ベースでの提出も多く、紙の使用量はあまり変わらない。 マニフェストは適正管理できている。活動は継続する。
	生コン部	○	◎	
	給油部	—	◎	
産業廃棄物の削減 ・分別の徹底 ・マニフェストの適正管理	現場	○	◎	
	生コン部	○	◎	
	給油部	—	—	
水使用量の削減 ・節水活動 ・洗車時など使用時の節水意識の向上 ・練り混ぜ水に回収水を利用＜生コン部＞	事務所	○	◎	各部門とも活動は定着している。 活動は継続する。
	現場	×	○	
	生コン部	○	◎	
	給油部	—	◎	
環境配慮 ・工事の効率化 ・県産木材・県内産資材の優先使用 ・環境配慮型施工の提案 ・環境に配慮したサービスの提供(エコタ等)	現場	—	○	ICT施工で工事の効率化を図ったほか、引き続きエコマーク認定材料を使用し環境に配慮している。給油部は燃費向上のオイルなど環境に配慮した商品を提案。次年度も継続する。
	給油部		◎	
社会貢献活動 ・アドプト、ボランティアサポート活動	全部門	—	◎	今年度9回実施。達成。 次年度も活動継続。
環境教育 ・従業員、協力業者への環境教育実施 ・必要に応じて講習等に参加	全部門	—	○	講習やネットの各サイトで得た情報を朝礼などで周知している。従業員、協力業者への教育も実施。

※ 数値目標：○ 達成 ×：未達成

※ 達成状況：◎ できた ○：ほぼ出来た △：やや不十分 ×できなかった

※ 一般廃棄物の削減の事務所には現場も含む。

6. 次年度(2024年度)の取組内容



項 目	取組内容
二酸化炭素排出量の削減 基準値の▲2% (※)     	電力 による二酸化炭素削減 ・エアコン温度管理／フィルター清掃 ・エアコン点検 ・必要以外の照明消灯 車両燃料 による二酸化炭素削減 ・エコ運転の推進／車両点検・整備の徹底 ・現場へは乗り合わせて移動 ・小型車活用＜生コン部＞ ・配達は最短コースで効率よく＜給油部＞ 灯油 による二酸化炭素削減 ・日中は暖房器具の使用時間を見直す。 ・温度設定を低くする。
一般廃棄物の削減 基準値の▲2% (※)    	・分別の徹底 ・使用済み用紙の再利用(印刷ミスをなくす) ・電子メールの活用
産業廃棄物の削減 再資源化率 100%       	・分別の徹底 ・マニフェストの適正管理
水使用量の削減 基準値の▲2% (※)  	・節水活動 ・洗車時など使用時の節水意識の向上 ・練り混ぜ水に回収水を利用＜生コン部＞
環境配慮          	・工事の効率化 ・県産木材・県内産資材の優先使用 ・環境配慮型施工の提案 ・環境に配慮したサービスの提供＜給油部＞
社会貢献活動 	・アドプト、ボランティアサポート活動 ・地域貢献活動（現場ほか）
環境教育 	・従業員、協力業者への環境教育実施 ・必要に応じて講習等に参加

(※) 基準値は2020年～2022年の3年間の平均値とした。

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の名称	遵守確認
騒音規制法	遵守
振動規制法	遵守
大気汚染防止法	遵守
オフロード法	遵守
浄化槽法	遵守
水質汚濁防止法	遵守
廃棄物処理法	遵守
建設リサイクル法	遵守
消防法	遵守
資源有効利用促進法	遵守
フロン排出抑制法	遵守
海陽町条例	遵守

法的義務を受ける主な環境関連法規制は上記のとおりです。

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。

また、過去3年間にわたって関係当局からの法的違反、訴訟等也没有ありません。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

- ・数値目標では未達成もあったが、環境を意識した活動は定着しており一定の評価はできる。ただ現状に満足するのではなく削減に向け更なる工夫を続けてほしい。
- ・労働者の処遇改善のため「CCUS」導入を進め、一部の現場では運用を開始を始めた。また採用活動に繋がるように会社のパンフレットも新しく作成したほか、低燃費型の重機・コンクリートミキサー車を購入するなど設備投資も行った。
- ・2024年は1月に能登地震、4月に同じ四国内の愛媛での地震と予期せぬ災害が続き、改めて災害対策の機材・備蓄の再確認を行い、体制を整えた。
- ・次年度も全員が協力して、各部門の事業活動に適した取組みを実施し、CO2削減に努める。

環境経営方針

■ 変更なし

□ 変更あり

環境経営目標・計画

■ 変更なし

□ 変更あり

実施体制

■ 変更なし

□ 変更あり



会社パンフレット

緊急事態対応訓練

社内での訓練の様子

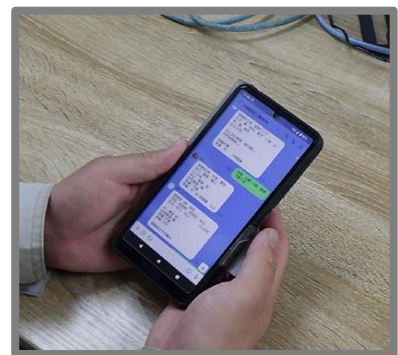
○ ドローンによる国道55号沿岸部の状況確認訓練



○ 施工現場での点検訓練

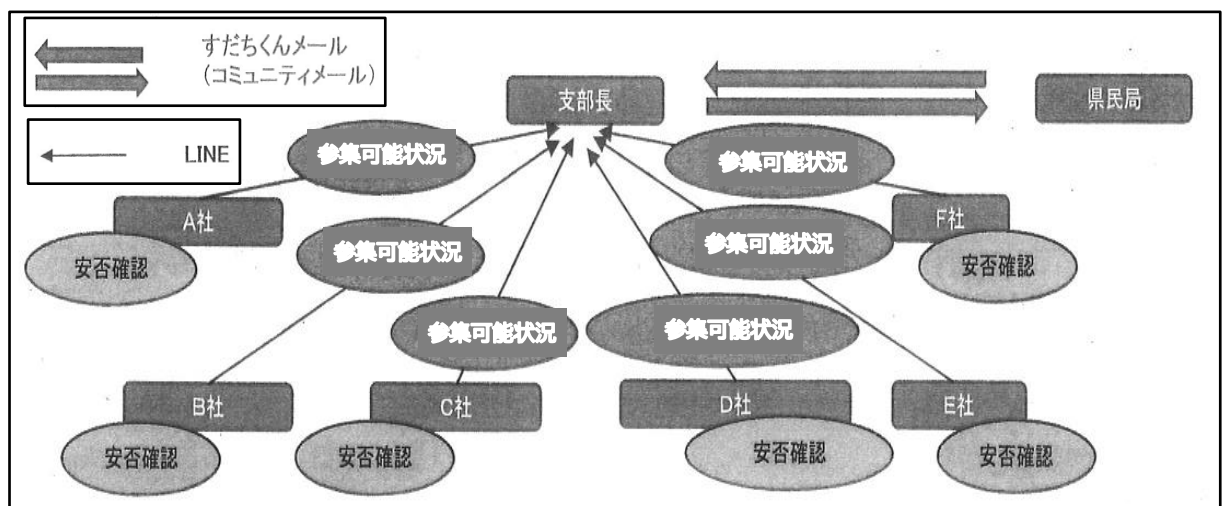


○ LINEによる安否確認訓練



県と建設業協会海部支部(全協会員)での安否確認訓練を実施

○ 各社、LINEにより情報伝達訓練（安否確認）を実施 ⇒ 最近はLINEが主流に…



活動・取組事例

地域貢献活動



地域内で交通事故発生のため
交通安全キャンペーン実施

毎年 恒例の



社員が母校の高校で
就職活動について講演！

徳島県・建設業協会主催の
CCUS現場運用セミナーに

